

ETHER/G703 CONV-4 (3115A)

概要

ETHER/G703 CONV-4(3115A)は、既存のスタッフ系MUX装置やSDH装置、無線機の1.5M/6.3M伝送路を使って、LANを構築する装置です。

イーサネット側インタフェースは10/100BASE-TXに対応し、SFP(オプション品)を実装することにより、1000BASE-SX、または1000BASE-LX回線を収容することも可能です。

1.5Mインタフェースは複数回線(最大4回線)を使用してバルク伝送することが可能です。

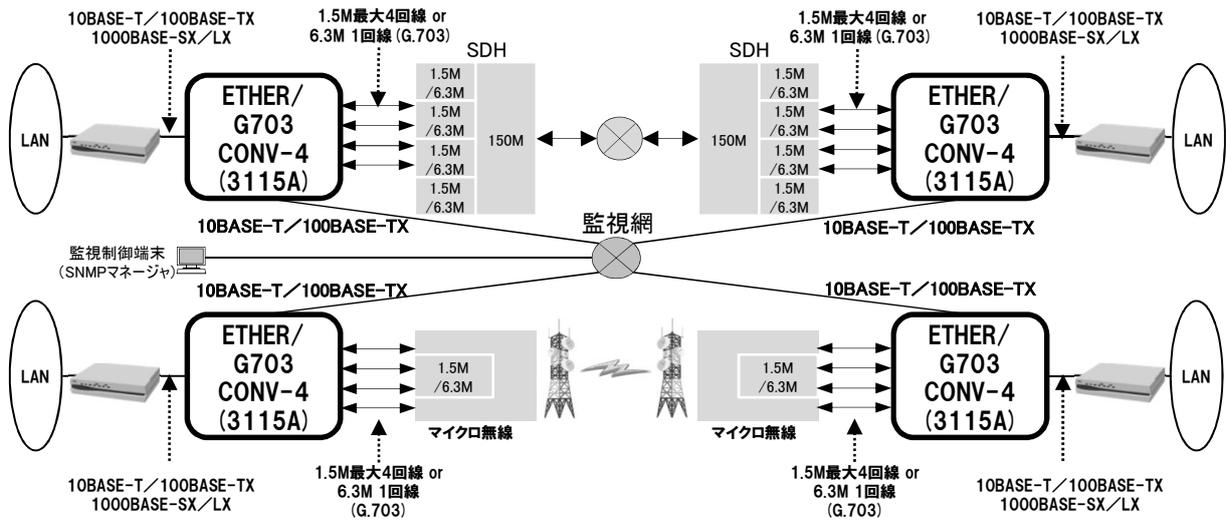
外観



特長

- 中継伝送路は1.5M(G.703/I.431-a)または6.3M(G.703/G.703-a)を切り替えて使用します。
- 1.5M使用時は、最大4回線をバルクして伝送することが可能です。また、1.5Mのバルク伝送の際、回線間の伝送路遅延差を補正する機能があります。
※伝送遅延差は、最大8フレーム(±4フレーム:1msの遅延差)までの補正が可能です。
- 1.5Mの複数回線を使用中に回線異常(REC、AIS、SENDのいずれか)が発生した場合、異常となった回線のみを閉塞し、残りの正常回線で通信を継続する機能があります。また、閉塞した回線が復旧した場合、自動的にポートを有効化し異常発生前の通信状態へ戻す機能があります。
※異常回線発生及び復旧時に瞬断が発生します。
- クロック源として、回線従属または自走のいずれかが選択可能です。
- イーサネット側は、10M/100M(メタル)または1000M(光)及びオートネゴシエーションまたは固定設定が選択可能です。また、10M/100Mの場合の通信方式は全二重/半二重が選択可能です。
※10M/100M(メタル)と1000M(光)の同時接続はできません。
- 伝送路側にイーサネットの0連/1連信号が流れないように、送出信号に対しスクランブルをかける機能があります。
- 最大転送パケットは1916byteでVLAN(IEEE802.1Q)対応のフレームも転送できます。
- イーサネット側は、ストア・アンド・フォワード方式により、不要なパケットを廃棄してネットワークの効率を向上させます。
- アドレス学習は行いません。
- イーサネット側はフロー制御(全二重設定時:PAUSE)に対応しています。
※半二重設定時にはフロー制御(バックプレッシャー)には対応していません。
- 対向装置のイーサネット・リンク未確立および、伝送路の異常で、自局装置のイーサネット側出力を停止するリンク状態転送機能があります。
- 遠隔監視端末(SNMPマネージャやWEBブラウザ)を使用して、遠隔地から警報の有無や回線状態、スイッチ設定を監視することが可能です。
- 装置故障や回線異常等が発生した場合、警報ランプを点灯し接点警報を出力します。また、遠隔監視端末から最大4箇所へSNMP trapを発出することが可能です。
- 装置前面または遠隔監視端末からリモートループ試験を実施することが可能です。
- パワーユニットはACタイプ(AC100V/単相AC200V共用)、DC-24VタイプおよびDC-48Vタイプから選択でき、二重化に対応しています。また、ホットスワップによる保守が可能です。
- 取り付け金具の位置を調整することにより、19インチ(IEC規格/JIS規格)のオープンラックにもクローズラックにも実装することができます。

使用例



主な仕様

項目		仕様	
伝送路側	6.3M側 (G.703) インタフェース	インタフェース	TTC JT-G703/G704準拠(6.3M)またはTTC JT-G703-a準拠
		速度	6.312Mbit/s
		符号形式	AMI(G.703/G.704)/B8ZS(G703-a)
		インピーダンス	75Ω
		物理インタフェース	BNCコネクタ
		回線数	1回線
	伝送距離	200m以内	
	1.5M側 (G.703/1431-a) インタフェース	インタフェース	TTC JT-G703/G704準拠(1.5M、新24マルチフレームまたは12マルチフレーム) またはTTC JT-1431-a準拠
		速度	1.544Mbit/s
		符号形式	AMI/B8ZS
		インピーダンス	110Ω(G.703)/100Ω(1431-a)
		物理インタフェース	ISO IS10173(RJ-48C)溝付き8ピンモジュラコネクタ
回線数		4回線	
伝送距離	200m以内		
イーサネット側 インタフェース※1	メタル	インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3(10M)及びIEEE802.3u(100M)準拠)
		速度	10Mbit/s、100Mbit/s(全二重/半二重、オートネゴシエーション)
		フロー制御	PAUSE(IEEE802.3x)
		最大パケット長	1916byte
		接続ケーブル	UTP(カテゴリ5)
		物理インタフェース	RJ-45コネクタ
	光 ※2	インタフェース	1000BASE-SXまたは1000BASE-LX (IEEE802.3z準拠)
		速度	1000Mbit/s(全二重、オートネゴシエーション)
		フロー制御	PAUSE(IEEE802.3x)
		最大パケット長	1916byte
		接続ケーブル	SMF(1000BASE-LX)またはMMF(1000BASE-SX/LX)
		物理インタフェース	LCコネクタ
遠隔監視側インタフェース	回線数	1回線	
	インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX(オートネゴシエーション) (IEEE802.3(10M)及びIEEE802.3u(100M)準拠)	
	プロトコル	SNMPv1(RFC1157準拠)/HTTP/IPv4	
	監視制御数	警報20項目(EQP、PU0 ALM、PU1 ALM、LINK DOWN、NTP ALM、 6.3M REC、6.3M AIS、6.3M SEND、1.5M CH1~CH4 REC、 1.5M CH1~CH4 AIS、1.5M CH1~CH4 SEND) 状態7項目(E-RMT、6.3M ACT、1.5M CH1~CH4 ACT、TEST OK) 制御1項目(TEST)	
警報出力	物理インタフェース	ISO IS8877(RJ-45)8ピンモジュラコネクタ(MDI)	
	電気インタフェース	無電圧ループ接続:3接続(EQP OUT/LINE OUT/ETHER OUT)	
	物理インタフェース	D-sub9ピンメスコネクタ(嵌合固定台ネジ径=2.6mm)	
使用電源 (二重化対応)		PU3101A実装時:AC100V±10%または単相AC200V±10%(50/60Hz)	
最大消費電力		PU3101B実装時:DC-48V±10%	
質量		PU3101C実装時:DC-24V±10%	
寸法		約10W	
環境条件		約8kg	
		480(W)mm×88(H)mm×300(D)mm(取付金具含む、突起物は除く)	
		温度0~40℃/湿度30~85%(但し、結露しないこと)	

※1:イーサネット側はメタル/光いずれかの使用となり、同時使用は出来ません。 ※2:実装するSFPは、オプション品となります。

主な導入先

通信事業者、公共/公益事業者、官公庁